

自然保護の歴史
がわかる!

吉野川河口の四国横断自動車道と 生物多様性保全を考える講演会

～市民が吉野川のためにできること～

紀伊水道に向かって広く開けた吉野川の河口は、干潟に生きるシオマネキや、海を越えて飛来し、休息しながら餌を食む渡り鳥にとって重要な湿地です。かつては上流から運ばれる豊かな土壌と水に恵まれた広大な河口干潟を形作っていましたが、上流のダム開発や農業や水道への利用で小さくなりました。残された貴重な干潟は、生き物にとって最後の楽園であり、ラムサール条約の登録湿地の候補となっています。現在、この河口干潟を横切るように3本の橋が渡されていますが、もう一本、「四国横断自動車道」の建設が計画され、川と海の境目の壮大な空の景観を遮る橋の計画もあります。気持ちのいい広大な空を見せてくれるこの河口の景観と その下に広がる河口に暮らすもの言わぬ生き物たちの声を、私たちはどのように未来へ伝えていけるでしょうか。みんなで考えましょう

日時: **5月25日(日)**

14:00～16:00

場所: **ふれあい健康館**

第4会議室

講師紹介: 政野淳子

(まさのあつこ): ジャーナリスト。中南米放浪で川や湖の美しさや泳ぐことに魅せられ1994年に帰国。徳島県旧木頭村のダム反対運動の応援をきっかけに国会の仕事や大学の研究を経て現職。著書に『水資源開発促進法 立法と公共事業』、『四大公害病』など

主催 徳島県自然保護協会
定員 50名 徳島の自然について興味のある方どなたでもOK!
参加費 無料
問合せ先 徳島県自然保護協会
TEL 088-623-6783

「湿地のグリーンウェイブ 2014～自然と共に生きる～」参加イベント

5月22日の「国際生物多様性の日」を中心に、生物多様性向上キャンペーン「グリーンウェイブ」が世界各国で開催されます

